

主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）でメイン会場となった志摩観光ホテル（三重県志摩市）の宿泊予約が急増している。夕食会などで首脳らに振る舞われたメニューに問い合わせが相次いでおり、定番メニューにすることも検討している。

志摩観光ホテルは警備上の観点から一般客の立ち入りを制限してきたが、6月

サミット効果 宿泊予約殺到

志摩観光ホテル

7日から通常の営業に戻る。サミットが始まる前から予約の問い合わせが殺到。首脳らが宿泊した別館「ベイスイート」の7、8月の宿泊予約は5月末時点で前年に比べ約50%増で推移している。稼働率も前年比で15%の上昇を見込む。サミットでは首脳や配偶者の食事会で伊勢エビやアワビ、松阪牛といった地元三重県の食材を豊富に使った料理が振る舞われた。サミット終了後から「同じメニューが食べられるか」といった問い合わせが増えた。

伊勢志摩地域の他のホテルや旅館も6月の宿泊予約が前年比で2～5割増えており、夏場のハイシーズンに向け本格的な「サミット景気」を期待している。